

身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしております。

つながるアルバム

うどんを打って味わって 地区内の実証事業を振り返りました



9月2日、大久保・外内行政区の集会所に約40人の住民が集まり、協力してうどんを打ち、皆で味わいました。うどんを打った小麦粉の小麦や、つゆに使ったエゴマは、福島大学の学生らが地区で実証栽培したもの。食後には実証の解説や報告も行われました。



(右上)うどん打ちを講習する地元の赤石澤武光さん (左上)小麦の香る打ちたてのうどんに皆大満足 (右下)小麦栽培の実証について報告する金子信博福島大学教授 (左下)実証栽培したエゴマで試作した食用油やスイーツを披露する学生達



あづまっぺで ほのぼの夏祭り



東北高校（宮城県）の生徒や福島大学の学生も来場し、出し物などで祭りを盛り上げました。イイタネちゃんも、記念撮影に応じるなど、来場者の人気を集めていました

9月5日、松川第一応急仮設住宅内のサポートセンター「あづまっぺ」が夏祭りを開催し、約40人が、流しそうめんやスイカ割りなどを楽しみました。夏祭りには、すでに退去し帰村した人も来場し、互いに支え合って過ごした日々を、和やかに語り合う様子も見られました。



ちよっと昔の いったて ライフ その5



家族や結が力を合わせた稲刈り。うれしい収穫ですが重労働でもありました

参考／写真転載 飯館村史第3巻「民俗」

感謝と協力の稲刈り

去年の米でどぶろくをつくって供えたり、あるいは新しい稲を奉納したり、お神酒を開いたり。稲刈りは、そうした神事を行ってから始められたそうです。刈った稲は、4つかみで1把、6把でひと束。腰に結わえた「すぐりワラ」でまるつて（くくつて）きました。

まるつた稲は、1段もしくは2段のハセギに掛けました。1本棒に横木を結わえた稲掛けは、ツクシとかテンガイとも呼びました。

稲が乾いたら、エノメエ（家の前）に運び、今度は千歯でこいたり、粉打ちをしたり。力があるので、男達の結（ゆい）が活躍しました。粉ぶるいでふるって、唐箕（とうみ）でおおつて、俵に入れる頃には夜も更けました。作業の間にこぼれた粉も、ていねいに集めました。夜食にはイモやカボチャが出ました。

稲を刈ったら「かつきりぼたもち」、こき終わったら「庭ばらいぼたもち」をつくりました。新しいもち米でおふかしをつくり、ワラでつくった「ツツコ」に入れて、田の神に供える地区もありました。冷害による不作も多かった時代。無事に稲刈りができた時の喜びは、格別に大きかったことでしょう。

新米の季節、時代は変われど、感謝の気持ちもかみしめて、おいしいご飯をいただきます。

第35回 いったて村文化祭

とき 10月27日(土) 午前9時30分～午後4時
10月28日(日) 午前9時30分～正午

ところ 飯館中学校 草野・飯樋・白石小学校

16団体が音楽や舞踊、伝統芸能などを披露するステージ発表は、1日目の27日(土)に行います。

幅広い世代が制作した多彩なジャンルの作品が並ぶ「総合文化展」は、27日(土)・28日(日)の両日展示します。

今年は何んな熱演・力作が登場するのでしょうか。詳細はチラシでお知らせします。皆様お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072

大倉の神楽・モノマネショー・ジャグリング
ステージショーも盛りだくさん
ふわふわドーム・綿菓子・縁日コーナー
キッズエリアも楽しいよ!

村産の花販売会

までい牛 無料
までい牛の焼肉丼・牛串
までい牛ソーセージ

ラオス食堂 無料
ラオス料理を味わおう!

焼きうどん・玉こんにゃく等の振る舞いも 無料

10月21日 午前10時～午後3時

交流センター「ふれ愛館」

実りの秋！みんな集まれ秋祭り

詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください！
※9/26現在の情報です。
都合により変更になる場合もございます。ご了承ください。

主催 飯館秋祭り実行委員会
問い合わせ ☎0244-26-7957(村商工会内)